

平成30年度 上下水道部長「政策宣言」達成状況

上下水道部長 前川 信彦

○ 平成30年度重要事業

事業名	水道施設整備事業
目標	西部幹線配水管整備や基幹管路の耐震化等を推進するとともに、主要配水池の改修計画策定に取り組み、災害時でも水道水を安全で安定的に供給できるよう水道システム全体の強じん化を図ります。
年度末達成状況	西部幹線配水管整備については、あいの風とやま鉄道軌道下横断を、基幹管路の耐震化等については太閤山地区等の配水管の耐震化を計画どおり実施しています。 また、主要配水池の改修計画の策定に必要なデータ等の調査を実施しました。
自己評価	市民の皆様の理解と協力により管路等の整備を進めることができました。 引き続き事業の推進に努め、事故や災害に強い水道システム強じん化を図っていきます。

事業名	雨水対策事業
目標	現在工事を進めている海老江雨水ポンプ場の建設、鷺塚地内や大門・八塚地内での雨水管渠施設整備などの早期完成を目指し、浸水被害の解消と軽減に努めます。
年度末達成状況	平成30年7月に海老江雨水ポンプ場、11月には大門・八塚地内の雨水管渠整備が完成しました。鷺塚地内の雨水管渠整備は、完成に向け着実に整備を進めています。
自己評価	市民の皆様の理解と協力により整備を進めることができました。引き続き、事業の早期完成に努めます。

事業名	安定的な事業運営
目標	将来にわたり安定的に事業を継続していくため、現状の課題と将来の見通しを的確に把握し、持続可能な事業運営に向けた施設整備・更新計画や財政計画等の策定と官民連携などによる経営基盤の強化に努めます。 また、上下水道事業の現在の経営状況を広報やホームページ等を通じてわかりやすく市民の皆様にお伝えします。
年度末達成状況	持続可能な事業運営のため、アセットマネジメント等策定業務による水需要予測と水道施設の整備方針検討を行うとともに、官民連携による包括業務委託の実施に向けた事業者選定を行いました。また、上下水道事業の経営状況を広報やホームページで公表しました。
自己評価	計画的に事業を進めることができ、今後は水道ビジョンの策定や包括業務委託の実施など、将来の水道事業の基盤強化に向け具体的な施策を進めます。市民の皆様に対しても上下水道事業についての理解と関心を深めていただけるよう、丁寧でわかりやすい情報開示に努めます。